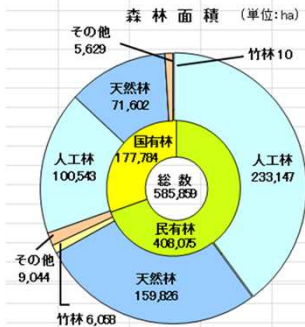




# 宮崎縣的森林・木材產業概要

(2018年度)

## ①森林面積(全國第13名2.4%)



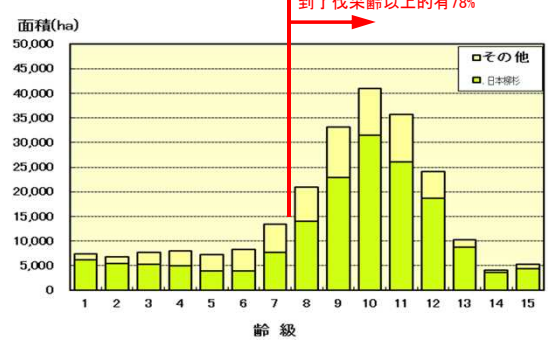
○ 県土77万haの75%、相當於59万haは森林  
 ○ 其中民有林は41万ha、占70%  
 ○ 由於積極擴大造林、人工林は33万ha、占57%

## ②森林蓄積(全國第7名3.2%)



(資料: 森林経営課)  
 \* 森林法第2条対象森林、國有林 平成29.3.31現在  
 ○ 森林蓄積量は大約1億8,944万m³ (1haの蓄積量は323m³/ha)  
 ○ 森林の年間成長量は352万m³/年 (其中日本柳杉は212万m³/年)

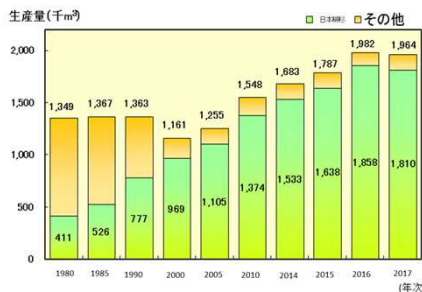
## ③人工林的齡級別面積(民有林)



○ 民有人工林的72%是日本柳杉  
 ○ 日本柳杉人工林當中、78%は8齡級(36~40年生)以

本縣多數的森林均可利用

## ④素材生産量



○ 素材生産量の9成は日本柳杉  
 ○ 2020年の目標: 190万m³

## ⑤高性能林業機械的持有狀況(全國第2)

順位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1	北海道 826	北海道 836	北海道 890	北海道 989
2	宮崎県 443	宮崎県 484	宮崎県 548	宮崎県 569
3	高知県 340	高知県 345	福島県 351	福島県 377
4	長野県 277	熊本県 295	秋田県 335	秋田県 363

○ 森林面積一千ha對照林業機械數量: 0.96台、是全國平均(0.34台)的約2.8倍

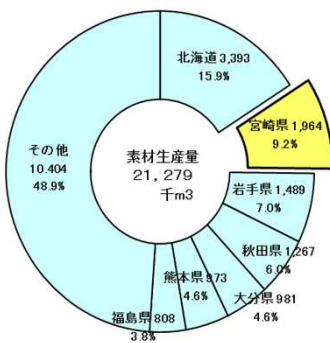
## ⑥林内路網的狀況(全國第2)

順位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1	宮崎県 37.3	宮崎県 37.7	宮崎県 37.9	群馬県 42.8
2	熊本県 32.9	熊本県 33.8	長崎県 34.6	宮崎県 38.1
3	佐賀県 31.9	佐賀県 33.3	佐賀県 34.3	長崎県 37.3

○ 全國平均(24.3m/ha) 的約1.5倍

提高了素材生産效率

## ⑦素材生産量(全國第2名9.2%)



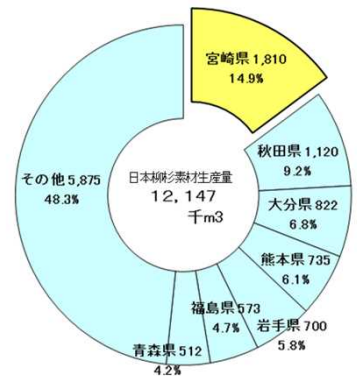
○ 本縣的日本柳杉素材生産量  
 1991年以來27年連續獲得全國第1的佳績

○ 2017年の日本柳杉素材生産量は181万m³  
 相當於全國生産量の約15%  
 使用日本柳杉年間成長量的85%(181/212)  
 (全國平均約23%)

○ 南九州4縣的日本柳杉素材生産量385万m³  
 相當於全國生産量の約32%

※ 北海道的森林面積は554万ha、相當於宮崎10倍的面積、但生産量は1.7倍。

## ⑧日本柳杉素材生産量(全國第1名14.9%)



## ⑨製材工場の規模(1間工場)

H29	出力数	原木消費量	出力数当たり原木消費量
全国	131.4kw	3,502m³	26.65m³/kw
宮崎	323.5kw	11,839m³	36.60m³/kw

○ 輸出数: 全國平均的約2.5倍(323.5/131.4)  
 ○ 輸出数均原木消費量(效率性): 全國平均的約1.4倍(36.6/26.65)

## ⑩出貨目的地對照出貨量

H28	總出荷量合計	県外内訳							
		県内	県外	首都圏	中京	関西	九州(熊本)	沖縄	其他
出荷量	94.5 (万m³)	25.7	68.8	7.5	4.3	4.8	39.6	4.8	7.8
構成比	100 (%)	27.2	72.8	7.9	4.6	5.1	41.9	5.1	8.3

○ 製材品の約7成出貨到縣外  
 ○ 2020年目標(縣外出貨量): 60.5万m³

## ⑪乾燥材生産量・乾燥施設

(日本柳杉乾燥材出貨全國第1)



○ 2020年目標: 48万m³

相比全國其他縣、本縣的制材工廠有大型化・近代化(效率化)的趨勢

人工乾燥材的供給是45.6% (43.1/94.5) (全國平均約21%)